

講演主旨

# 広島のごみ世界に広がる 回収+発生抑制を継続・支援



瀬戸内海のごみを考える  
特任教授 藤枝 繁



国立大学法人鹿児島大学  
南九州・南西諸島域共創機構  
産学・地域共創センター連携推進部門  
特任教授 藤枝 繁 先生

今回の公衆衛生大会では、瀬戸内海のごみをテーマに国立大学法人鹿児島大学特任教授の藤枝 繁先生に講演いただきました。先生の海洋ごみの研究成果に基づき、瀬戸内海のごみの動きや世界に拡散する海洋ごみについて説明があり、私たちがしなければならないことを助言いただきました。

まず最初に、私が北太平洋で見つけたものについてお話しします。ミッドウエー島を存じでしょうか。周囲4,000kmという小さな島に、コアホドリが50万羽生活しています。この島は、保護区に指定され、アメリカの環境保護局の職員と施設管理の技術者合わせて約80人が生活しており、一般の住民はいません。

この島のいたるところに、ライターやペットボトルのキャップ、カキの養殖パイプなどのプラスチック製品が落ちていきます。なぜでしょう。

島にはコアホドリの餌がありません。親鳥が海から餌のイカを捕まえてきては給餌します。親鳥が誤って取り込んだプラスチックごみは、ひなに与えられません。この鳥は、巣立つ際に、胃袋にたまったイカのくちばしを吐き出します。この時胃に取り込んだごみも吐きだすため、島のいたるところにプラスチックごみが散乱することになるのです。

ところで、皆さんはこのプラスチックの棒をご存じですか。カキ養殖に利用するパイプで、豆カンと呼ばれています。カキ養殖をしている海岸で多く見ることがありますが、長いパイプは広島県特有

のものです。島の真ん中の道路で1時間ごみ拾いしてみると、たくさん豆カンが集まりました。津波で打ちあがったものではありません。鳥が間違っただけです。

つまり、広島を起源とするごみが、遠く離れた北太平洋に影響を及ぼしているのです。残念ながら、太平洋沿いの各地の海岸でこの豆カンを見ることができているのが現状です。

さて、これらの海ごみはどこから来て、どこへ行くのでしょうか。過去の調査で、台湾から北海道の知床の海岸で、7万本の使い捨てライターを集めるプロジェクトを行いました。ライターには、電話番号や住所が書かれたものが多くあり、どこからごみが発生し、どう移動しているのかを調査することができました。陸域のごみが、川から海に流れています。瀬戸内海に接していません。流域からごみの流入があるの、陸域での対策が必要です。



ミッドウエー島の真ん中の道路上で藤枝氏が、約60分で集めることができたプラスチックごみ。

かいます。その後、北赤道海流に乗って、台湾へ。そして、黒潮に乗って日本に戻ってきます。この間、紫外線でバラバラに砕け、マイ

これから、どうすればいいか、瀬戸内海に流入するごみの量と、回収促進による海洋ごみの残存量の削減などを試算すると、いくつかがヒントが見えてきます。

まず一つは、重点回収という考えです。瀬戸内海のごみの8割は、1割の海岸に集まっています。海ごみは流れて移動し、粉々になっ

体全体の健康につながります。65歳以上の方の約半数は、夜眠っている間に唾液を誤嚥(ごえん)しています。睡眠中に唾液の誤嚥を防ぐことは難しいですが、口腔ケアで口腔の中を清潔にし、唾液中の細菌を減らすことで肺炎予防が期待できます。

## 歯と口腔から健康生活を始める

### 3市町公衛協でモデル事業実施

#### 全県共通事業新メニュー開発

広島県地区衛生組織代表者会議は、新しい全県共通事業重点メニューの開発に取り組んでおり、健康づくりでは口腔(こうくう)保健のモデル事業を試行しています。事業の目的は、生涯にわたる「生活の質(QOL)」の維持向上のため、歯と口腔に関する知識を持つ推進委員を育成し、口腔ケアの方法や必要性などの啓発を通じて、歯科検診の受診率向上に取り組むことです。今年度は、三次市八

次地区公衛協、廿日市市公衛協、北広島町公衛協の協力を得て、10月と11月に学習会を実施しました。学習会の講師は、広島県歯科医師会のご協力で、歯科

医師を派遣していただきました。学習会は60分の座学が基本で、希望に応じて歯みがき実習が30分程度追加されます。実習では、講師の指導を受けつつ、歯ブラッシングの速度や強さを確認しました。当協会は、支援グッズとして、歯ブラシ、歯間ブラシ、フロス、舌ブラシ、口腔ケア用ウェットティッシュを提供し、自分に合った口腔ケアグッズを選んで体験していただ

座学と実技の講習会



座学と実技の講習会



歯科医師から実技指導

お口の中をケアすることは、虫歯の予防だけでなく、食べること、しゃべること、脳を活性化すること、生命を維持することなど、身

歯は自分できれいにし、歯肉部分にたまる歯垢(しこう)や歯石は、定期的な歯科医院で専門家にケアしてもらいましょう。

(文責 地域支援課)